

地盤改良にも威力を発揮する定置式ポンプ！ スクイーズクリート「PQ20-21M」を新発売

極東開発工業株式会社(本社:兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長:筆谷 高明 特装車事業、環境事業、パーキング事業)は、このたび定置式ポンプの新機種としてスクイーズクリート「PQ20-21M」を開発し、平成20年11月10日より発売いたします。

新機種は、従来の生コンクリートを始めとする粘液物の圧送のほか、軟弱地盤の土壌改良における改良土の圧送等にも適した多機能ポンプとして開発いたしました。スクイーズクリートの心臓部であるロータ機構の改良により、チューブの耐久性の約30%アップと吸引効率の約20%アップを図りました。また、ローラがチューブを押す圧力の均一化を図ることで消費電力の低減も図ります。装置のレイアウトや形状の見直しにより、操作性・メンテナンス性も向上しました。

新機種の投入により、製品ラインナップの充実をはかり、特装車事業の強化を図ってまいります。



定置式スクイーズクリート「PQ20-21M」

(主要緒元)

全長	2,740 mm	ポンピングチューブ径	4.5B
全幅	1,060 mm	最大吐出量	20 m ³ /H
全高	1,700 mm	最大吐出圧力	1.5Mpa
重量	約 1,350 kg	主電動モーター	15kw (AC200V)

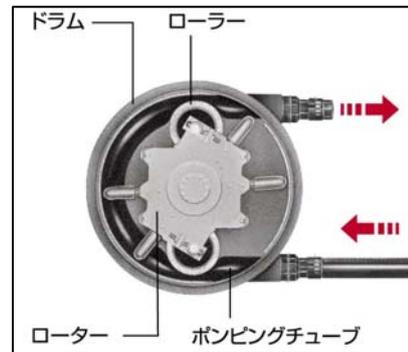
「PQ20-21M」のポイント！

① 様々なシーンで活躍！

生コンクリートの圧送だけでなく、軟弱地盤での土壌改良のための改良土や、肥料生成のための家畜糞の圧送など、様々なシーンで利用することができます。

② チューブの耐久性向上

スクイズクリートの心臓部であるロータ機構の改良により、ポンピングチューブの耐久性が約30%向上するとともに、吸引効率が約20%アップしました。

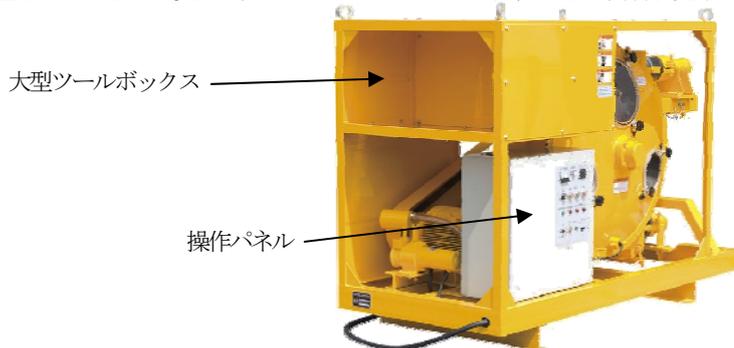


③ 消費電力の低減

従来品は圧送するときのローラーがチューブを押す圧力が均等ではなく、局部的に圧力が高い部分が発生していました。ロータ機構の改良により圧力を均一化させることで不必要な動力を削減し、消費電力を低減させます。

④ より使いやすく、より安全に

操作パネルの配置の見直しにより、ポンプドラムの回転を見ながらパネル操作ができるようになり、操作性の向上、安全性への配慮を図りました。機能部品のレイアウトを見やすく配置することでメンテナンス性も向上しました。また、大型ツールボックスの設置により、作業現場でより使いやすくなりました。



⑤ 販売価格

希望小売価格 5,775 千円 (消費税込み)

⑥ 販売目標

年間 30 台

<広報お問合せ先>

極東開発工業株式会社 経営企画部法務広報課

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口 6-1-45

電話 (0798) 66-1500 F A X (0798) 66-8146

ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>